

## 【流山市立向小金小学校】部活動に係る活動方針

平成30年 8月31日

### 1 部活動の位置付け

部活動は、学校が教育活動の一環として設定し、スポーツ・文化・科学・芸術等に興味・関心をもつ同好の児童・生徒が、学級や学年の枠を超えて組織し、部員相互の切磋琢磨や自己の能力に応じてより高い水準の知識、技術や記録を追求することを通して、活動そのものの楽しさや喜びを味わうとともに、豊かで充実した学校生活を創造するものである。

### 2 部活動の種類

・陸上部      ・ミニバスケットボール部      ・吹奏楽部

### 3 休養日及び活動時間等

練習については、大会や練習試合もあわせ、学校長の承認のもと、計画的に行う。

- (1) 練習時間は、平日は2時間程度、休日は実施しないことを原則とするが、吹奏楽部のみ大会直前等やむを得ない場合には可とするが練習時間は3時間以内とする。
- (2) 1週間のうち、平日に1日は休養日を設ける。
- (3) 大会・コンクール前や大会・コンクール当日、地域での発表会を除き、原則土曜日、日曜日、休日、祝日には実施しない。
- (4) 大会・コンクール参加に向けて休日に連続して活動が必要な場合においても原則実施しないがやむをえず実施する場合は大会前日のみとし、3(1)に準ずる。
- (5) 3(1) (4)の状況において部活動を実施した場合は直後の週の平日に、その代わりとなる休養日を設ける。ただし、大会・コンクール等に勝ち残った場合も同様である。その場合は校長の承認により他の週に休養日を設ける。
- (6) 長期休業中の練習については、原則3時間以内とする。

### 4 その他

- (1) 指導体制及び部活動に関する組織  
全職員を割り振り、子どもだけで活動しない体制、バックアップ体制を作る。
- (2) 部活動担当者会議
  - ① 主催  
管理職指導のもと、体育主任及び部活担当責任者が主催する。
  - ② 開催時期等  
年度当初・月1回・大会等前、その他適宜行う。結果は管理職に報告し、承認を受ける。
- (3) 指導計画  
年間計画、月計画を作成し、職員・保護者・児童との共通理解のもと指導に当たる。
- (4) 保護者・地域との連携  
東部中学校区学校支援本部コーディネーターに対し、部活動の指導補助を行う地域人材の活用について依頼中。

(5) 安全対応

★ 陸上部：共通1～16 ※ ミニバスケットボール部の校庭使用時含む

★ ミニバスケットボール部：共通1, 2, 5～16 ※ 陸上部体育館校舎内使用時含む

★ 吹奏楽部：共通4～13, 16

共通1 学校における事故防止マニュアルに基づく。アンダーラインはマニュアル記載以外の部活動対応策。

共通2 長靴、サンダルなど体育に不適な靴では行わせない。体育に適した服で行う。

共通3 校庭に水たまりがあり、滑りやすい状況及び雷・降雨等の天候不良の場合は実施しない。ただし、水たまりがあっても場所によっては運動可能と判断した場合は、種目を制限（ハードル走、走り高跳び、走り幅跳びは行わない）し更に運動の負荷を減らし実施可能とする場合もある。この場合、管理職と体育主任が協議し、管理職が決定する。

共通4 種目（パート）別練習を行う場合はそれぞれの種目に指導者を配置する。不可能な場合は種目を集約し、それぞれに担当者を置く。

共通5 全体で同じ運動をする場合は最低2名の指導者を配置する。

共通6 指導者がいない場面での児童のみの活動を行わない。

共通7 朝練習の場合、集合時刻の30分前（6：55）には最低担当者1名は出勤する。

共通8 午後練習の場合、集合時刻前には最低担当者1名は活動場所にいる。

共通9 活動開始及び終了時刻を厳守する。終了時刻とは、昇降口を出る時刻である。

共通10 昼休みや業間等に練習が必要な場合は管理職の許可を得た上で実施することができる。ただし、児童に強制せず大会前等にかぎる。この場合も最低2名の指導者を配置する。

共通11 職員会議、学年会、研修日その他必要がある場合には原則として活動は実施しない。

共通12 天候の急変、不審者等の対応、地震等の緊急時には安全確保を行い、状況によって活動中止、時間の短縮、留め置き等を行う。その際は教職員による下校指導を行う場合がある。この場合、メールにて保護者に連絡をする。

共通13 万が一、活動最中や終了後等に突然倒れた場合の措置。

(※詳細はマニュアル参照：どんな場合でも適用)

- ・ その場から動かさない。
- ・ 大声で応援（AED）を呼ぶとともに意識や呼吸等の確認。  
かなわぬ場合は児童に応援を呼ぶように伝える。
- ・ 心肺停止の場合はすぐに心肺蘇生及び救急車を要請する。
- ・ AED到着後、使用する。
- ・ 呼吸はあるが意識がない場合も救急車を要請する。  
※ 現場の判断（万が一を考え）で即救急車を要請する。

共通14 コースロープ、グラウンドの不整、器具、道具、設備等に不具合がないか、実施前に確認する。

共通15 後ろ向きダッシュは行わない。

共通16 活動時には適度な休憩と水分補給をさせる。外で活動する際は帽子をかぶらせる。外での休息や全体指導等は天候にもよるが、日陰で行う。体育館で暑い場合は外の日陰や扇風機前で休憩や全体指導を行う。

※1 WBGT 31℃を超えた場合運動中止。室内で座学等を実施に変更等の措置をとる。

※2 WBGT 31℃以下でも状況によっては※1と同様の対応。